

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

AXIS Q1941-E Thermal Network Camera

AXIS Q1942-E Thermal Network Camera

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

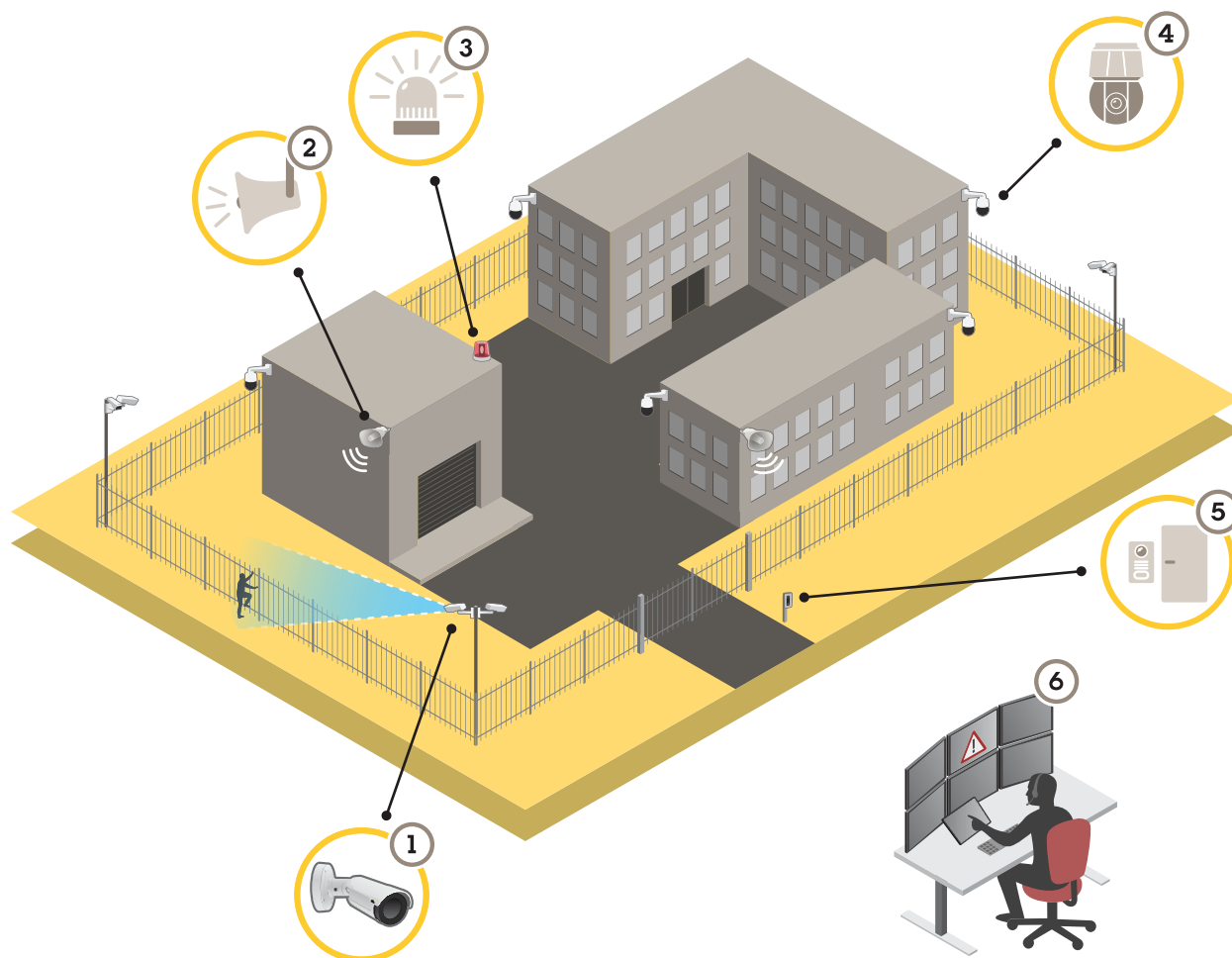
目次

| | |
|-------------------------|----|
| ソリューションの概要 | 3 |
| 周辺保護について | 3 |
| 製品の概要 | 4 |
| ネットワーク上のデバイスを検索する | 5 |
| ブラウザサポート | 5 |
| デバイスへのアクセス | 6 |
| rootアカウントの新しいパスワードを設定する | 6 |
| 安全なパスワード | 6 |
| 追加設定 | 7 |
| Webページの概要 | 7 |
| アプリケーション | 8 |
| 点滅ビーコンの接続方法 | 9 |
| ネットワークホーンスピーカーの接続方法 | 10 |
| 画質 | 11 |
| ストリーミングとストレージ | 11 |
| トラブルシューティング | 15 |
| 工場出荷時の設定にリセットする | 15 |
| ファームウェアオプション | 15 |
| 現在のファームウェアを確認する | 15 |
| ファームウェアのアップグレード | 16 |
| 技術的な問題、ヒント、解決策 | 16 |
| パフォーマンスに関する一般的な検討事項 | 18 |
| 仕様 | 19 |
| LEDインジケータ | 19 |
| SDカードスロット | 19 |
| ボタン | 19 |
| コネクタ | 19 |

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

ソリューションの概要

ソリューションの概要



- 1 *AXIS Perimeter Defender*を搭載したサーマルカメラ
- 2 ホーンスピーカー
- 3 点滅ビーコン (PTマウント対応モデルには無効)
- 4 PTZネットワークカメラ
- 5 ドアコントローラー
- 6 監視センター

周辺保護について

侵入検知が必要なエリアでは、分析ソフトウェア内蔵のサーマルカメラを使用して周辺保護を設定することができます。周辺保護の主な目的は、脅威や実際の侵入をできるだけ早い段階で検知することです。

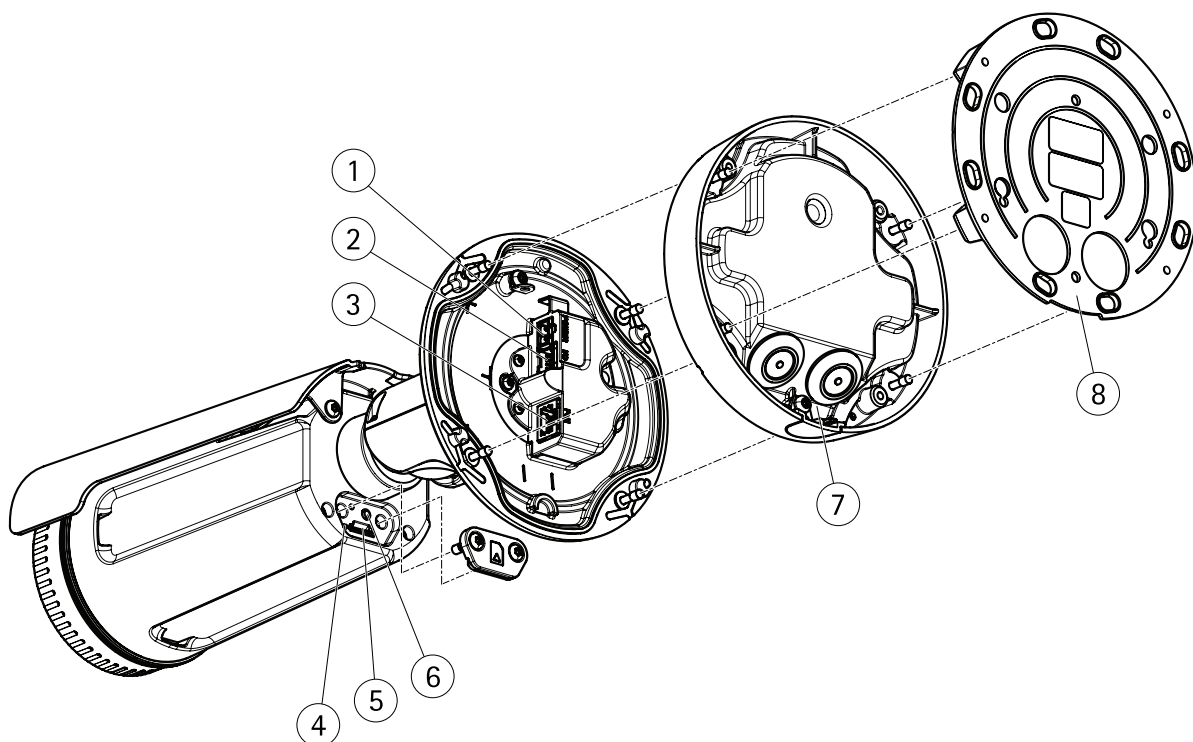
周辺保護を設定するには、境界線の監視と周辺保護のための分析アプリケーションをサーマルカメラにインストールする必要があります。アクシスでは、この目的で*AXIS Perimeter Defender*アプリケーションを提供しています。AXIS Perimeter Defenderの詳細については、axis.com/products/axis-perimeter-defenderを参照してください

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

ソリューションの概要

- 侵入者になりそうな人に周辺が保護されていることを知らせるには、点滅ビーコン (3) を使用します。9ページの点滅ビーコンの接続方法を参照してください。
- 警告を発して侵入を思いとどませるには、事前に録音された警告メッセージを再生するホーンスピーカー (2) を接続します。10ページのネットワークホーンスピーカーの接続方法を参照してください。

製品の概要



- 1 電源コネクタ
- 2 I/Oおよび音声ターミナルコネクタ (マルチコネクタ)
- 3 ネットワークコネクタ
- 4 ステータスインジケータ-LED
- 5 microSDメモリーカードスロット
- 6 コントロールボタン
- 7 脚
- 8 取付ブラケット

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

ネットワーク上のデバイスを検索する

ネットワーク上のデバイスを検索する

Windows®でAxisデバイスを探してIPアドレスの割り当てを行う方法については、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してください。いずれのアプリケーションも無料で、axis.com/supportからダウンロードできます。

IPアドレスの検索や割り当てを行う方法の詳細については、デバイスページ (axis.com) にあるドキュメント『[IPアドレスを割り当ててデバイスにアクセスする方法](#)』を参照してください。

ブラウザーサポート

以下のブラウザーでデバイスを使用できます。

| | Chrome™ | Firefox® | Edge® | Safari® |
|------------------|---------|----------|-------|---------|
| Windows® | 推奨 | X | X | |
| OS X® | 推奨 | | | X |
| その他のオペレーティングシステム | X | X | | |

推奨されるブラウザーの詳細な情報については、axis.com/browser-supportにアクセスしてください。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

デバイスへのアクセス

デバイスへのアクセス

1. ブラウザーを開き、アクシスデバイスのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
Macコンピューター (OS X) の場合は、SafariでBonjourをクリックし、ドロップダウンリストからデバイスを選択します。Bonjourをブラウザのブックマークとして追加するには、**[Safari > Preferences (Safari > 設定)]**に移動します。
本製品のIPアドレスが不明な場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用して、ネットワーク上でデバイスを見つけます。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。初めてデバイスにアクセスする場合は、rootパスワードを設定する必要があります。6ページの*rootアカウントの新しいパスワードを設定する*を参照してください。
3. ブラウザーでライブビューページが開きます。

rootアカウントの新しいパスワードを設定する

重要

デフォルトの管理者ユーザー名は**root**です。rootのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットしてください。

1. パスワードを入力します。安全なパスワードを設定する手順に従います。6ページの*安全なパスワード*を参照してください。
2. パスワードを再入力して、スペルを確認します。
3. **[Create login (ログインの作成)]**をクリックします。これでパスワードが設定されました。

安全なパスワード

重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用される可能性があることから、パスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことを強く推奨します：

- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

追加設定

追加設定

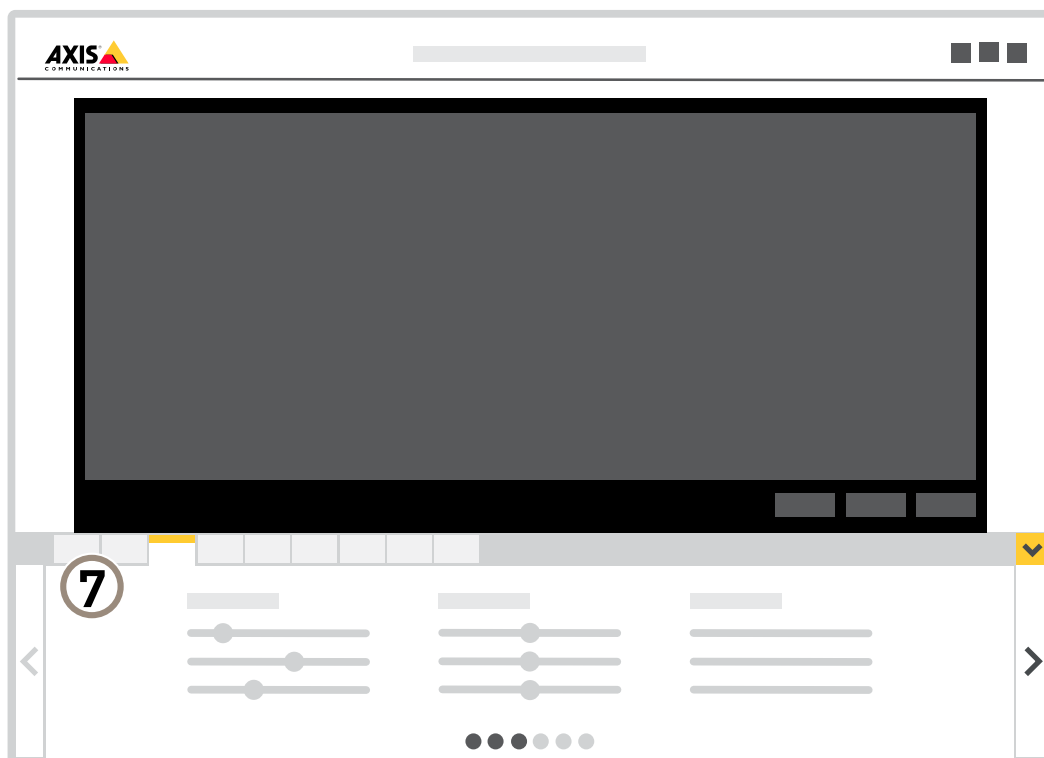
Webページの概要



- 1 ライブビューコントロールバー
- 2 ライブビュー
- 3 製品名
- 4 ユーザー情報、カラーテーマ、およびヘルプ
- 5 ビデオコントロールバー
- 6 設定トグル

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

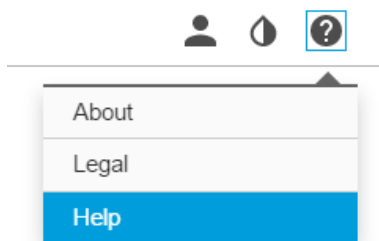
追加設定



7 設定タブ

さらに支援が必要ですか?

デバイスのWebページから内蔵のヘルプにアクセスできます。このヘルプでは、デバイスの機能やその設定に関する詳細情報を提供しています。



アプリケーション

AXIS Camera Application Platform (ACAP) は、サードパーティによるAxis製品向けの分析アプリケーションやその他のアプリケーションの開発を可能にするオープンプラットフォームです。入手可能なアプリケーション、アプリケーションのダウンロード、試用版アプリケーション、およびライセンスの詳細については、axis.com/applicationsを参照してください。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

追加設定

アクシスアプリケーションのユーザーズマニュアルについては、axis.comを参照してください。

注意

- 同時に複数のアプリケーションを実行できますが、互いに互換性がないアプリケーションもあります。アプリケーションの特定の組み合わせによっては、並行して実行すると過度の処理能力やメモリーリソースが必要になる場合があります。アプリケーションを展開する前に、同時に実行できることを確認してください。

点滅ビーコンの接続方法

点滅ビーコンを使用すると、侵入者になりそうな人に周辺が保護されていることを知らせることができます。

このシナリオでは、点滅ビーコンを接続し、サーマルカメラが侵入を検知したときに点灯するように設定する方法について説明します。このシナリオでは、ビーコンは営業時間外(月曜～金曜の18:00～08:00)のアラームによってのみ点灯を有効にすることができ、有効になるたびに30秒点灯します。

必要なハードウェア

- マルチケーブル(20ページのマルチコネクタを参照)
- 接続ワイヤー(青1本と赤1本、最小面積: 0.25 mm²、最大面積: 0.5 mm²)
- 点滅ビーコン(12 V DC、最大50 mA)

注意

接続ワイヤーの最大長は、ワイヤーの面積とビーコンの電力消費によって異なります。

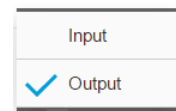
物理接続

- マルチケーブルをカメラに接続します。
- 赤いワイヤーをマルチケーブルI/Oターミナルコネクタのピン2(DC出力+12 V DC)に接続します。
- 赤いワイヤーのもう一方の端を、点滅ビーコンの+マーク付きコネクタに接続します。
- 青いワイヤーをマルチケーブルI/Oターミナルコネクタのピン3(I/Oポート)に接続します。
- 青いワイヤーのもう一方の端を、点滅ビーコンの-マーク付きコネクタに接続します。

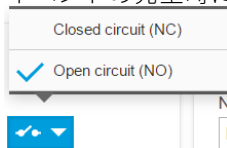
I/Oポートの設定

カメラのWebページで、点滅ビーコンをカメラに接続する必要があります。最初に、次のようにI/Oポートを設定します。

- [System (システム)] > [I/O ports (I/Oポート)] の順に移動します。



- [Port 1 (ポート1)] ドロップダウンリストから [Output (出力)] を選択します。
- 「Flashing beacon (点滅ビーコン)」など、出力モジュールの名前を入力します。
- イベントの発生時にビーコンが点灯を開始するには、ドロップダウンリスト



から [Open circuit (開路)] を選択します。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

追加設定

アクションルールの作成

何かが検知されたときにカメラからビーコンに通知を送って点灯を開始するには、次のようにカメラでアクションルールを作成する必要があります。

1. [Settings (設定)] > [System (システム)] > [Events (イベント)] の順に移動し、ルールを追加します。
2. 「Flashing beacon (点滅ビーコン)」などの名前を入力します。
3. 条件の一覧で、Perimeter Defenderアプリケーションを選択します。
4. [Use this condition as a trigger (この条件をトリガーとして使用する)] を選択します。
5. 別の条件を追加します。
6. 条件の一覧で、[Scheduled event (スケジュールされたイベント)] を選択します。
7. スケジュールのリストで、[After hours (就労時間外)] を選択します。
8. アクションのリストから、[Output port (出力ポート)] を選択します。
9. ポートリストで、[Flashing beacon (点滅ビーコン)] を選択します。
10. 期間を30秒に設定します。
11. [Save (保存)] をクリックします。

ネットワークホーンスピーカーの接続方法

ネットワークホーンスピーカーは、侵入者になりそうな人に警告したり侵入を防いだりするために使用します。

このシナリオでは、Axisネットワークホーンスピーカーをカメラに接続し、サーマルカメラが侵入を検知したときにオーディオクリップを再生するように設定する方法について説明します。このシナリオでは、ホーンスピーカーは営業時間外(月曜～金曜の18:00～08:00)のアラームによってのみ有効にすることができます。

Add a recipient (送信先の追加)

注意

オーディオクリップがホーンスピーカー内に存在しており、その番号を知っている必要があります。オーディオクリップの番号を調べるには、次のコマンドを入力します。
`http://[HornSpeakerIP]/axis-cgi/param.cgi?action=list` ([HornSpeakerIP]はホーンスピーカーのIPアドレスです)。番号は、表示されるリスト内の文字Mの後に表示されます。

カメラでホーンスピーカーを送信先として設定することにより、カメラをホーンスピーカーに接続します。

1. [Settings (設定)] > [System (システム)] > [Events (イベント)] > [Recipients (送信先)] の順に移動し、送信先を追加します。
2. 「ホーンスピーカー」などの名前を入力します。
3. [Type (タイプ)] リストから [HTTP] を選択します。
4. [URL] フィールドで、`http://[HornSpeakerIP]/axis-cgi/playclip.cgi?clip=[x]` と入力します。
 - [HornSpeakerIP] はホーンスピーカーのIPアドレス
 - [x] はオーディオクリップの番号
5. ホーンスピーカーのユーザー名とパスワードを入力します。
6. 接続を試すには、[Test (テスト)] をクリックします。

ルールの作成

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

追加設定

何かが検知されたときにカメラからホーンスピーカーに通知を送ってオーディオクリップを再生するには、次のようにカメラでアクションルールを作成する必要があります。

1. [Settings (設定)] > [System (システム)] > [Events (イベント)] の順に移動し、ルールを追加します。
2. 「ホーンスピーカー」などの名前を入力します。
3. 条件の一覧で、Perimeter Defenderアプリケーションを選択します。
4. [Use this condition as a trigger (この条件をトリガーとして使用する)] を選択します。
5. 別の条件を追加します。
6. 条件の一覧で、[Scheduled event (スケジュールされたイベント)] を選択します。
7. スケジュールのリストで、[After hours (就労時間外)] を選択します。
8. アクションのリストから [Send notification through HTTP (HTTPで通知を送信する)] を選択し、[Horn speaker (ホーンスピーカー)] を選択します。
9. [Save (保存)] をクリックします。

画質

カラーパレット

熱画像に適用されたカラーパレットは、人間の目が画像の詳細を識別するのに役立ちます。パレット内の色は、温度の違いを強調するために人工的に作り出された疑似カラーです。

本製品には選択可能な複数のカラーパレットがあります。オペレーターがビデオストリームを見る場合は、いずれかのパレットを選択できます。ビデオストリームがアプリケーションによってのみ使用される場合は、ホワイトホットパレットを選択します。

揺れる映像を電子動体ブレ補正 (EIS) によって安定させる

電子動体ブレ補正 (EIS) は、風が当たる場所や車が往来する場所など、露出した場所に本製品が設置されており、本製品が振動する環境で使用することができます。EISをオンにすると、ブレがなく、よりスムーズで安定した映像が表示されます。

また、EISを使用すると圧縮された画像のファイルサイズが削減され、ビデオストリームのビットレートも低くなります。

注意

EISがオンのときは、画像がわずかにクリッピングされ、最大解像度が低くなります。

1. [Settings (設定)] > [Image (画像)] > [Image correction (画像補正)] の順に移動します。
2. [EIS] をオンにします。

ストリーミングとストレージ

ビットレート制御

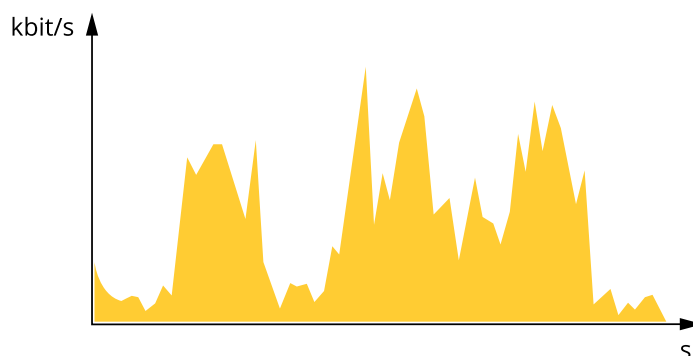
ビットレート制御で、ビデオストリームの帯域幅の使用量を管理することができます。

Variable bitrate (VBR) (可変ビットレート (VBR))

可変ビットレートでは、シーン内の動きのレベルに基づいて帯域幅の使用量が変化します。シーン内の動きが多いほど、多くの帯域幅が必要です。一定の画質が保証されますが、ストレージに余裕がある必要があります。

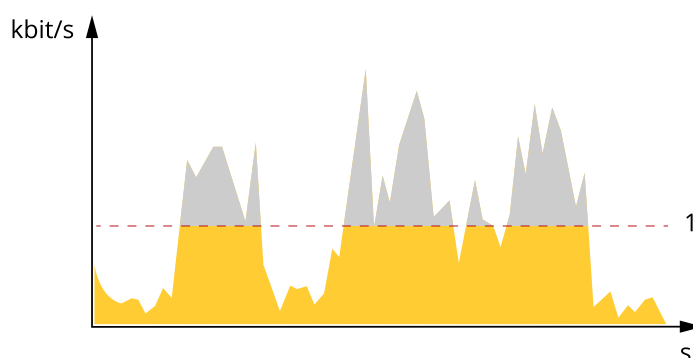
AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

追加設定



Maximum bitrate (MBR) (最大ビットレート (MBR))

最大ビットレートでは、目標ビットレートを設定してシステムのビットレートを制限することができます。瞬間的なビットレートが指定したビットレート以下に保たれていると、画質またはフレームレートが低下することがあります。画質とフレームレートのどちらを優先するかを選択することができます。目標ビットレートは、予期されるビットレートよりも高い値に設定することをお勧めします。そうすることで、さらに複雑なキャプチャーが必要になった場合に備えた余裕ができます。



1 目標ビットレート

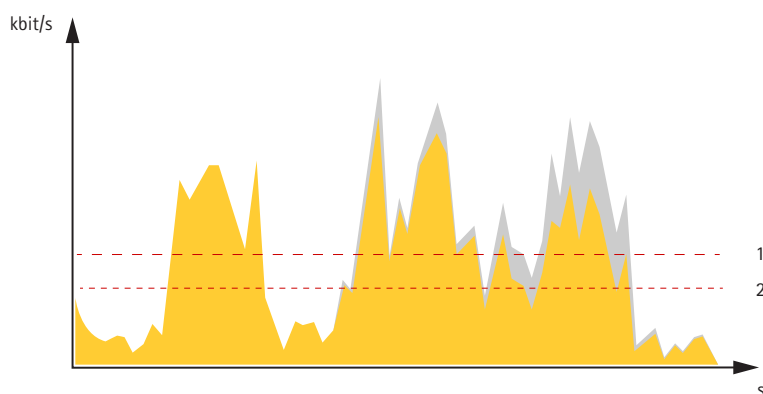
Average bitrate (ABR) (平均ビットレート (ABR))

平均ビットレートでは、より長い時間スケールにわたってビットレートが自動的に調整されます。これにより、指定した目標を達成し、使用可能なストレージに基づいて最高画質のビデオを得ることができます。動きの多いシーンでは、静的なシーンと比べてビットレートが高くなります。平均ビットレートオプションを使用すると、必要なときに画質が向上する可能性が高くなります。指定した目標ビットレートに合わせて画質が調整されると、指定した期間 (保存期間)、ビデオストリームを保存するために必要な総ストレージ容量を定義できます。次のいずれかの方法で、平均ビットレートの設定を指定します。

- 必要なストレージの概算を計算するには、目標ビットレートと保存期間を設定します。
- 使用可能なストレージと必要な保存期間に基づいて平均ビットレートを計算するには、目標ビットレートカリキュレーターを使用します。

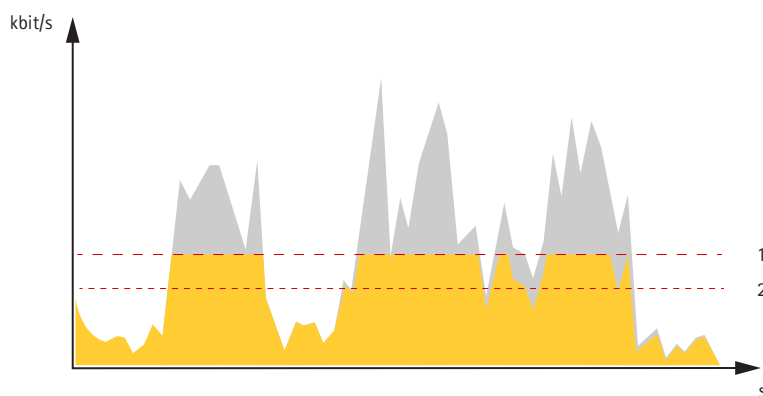
AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

追加設定



- 1 目標ビットレート
- 2 実際の平均ビットレート

平均ビットレートオプションの中で、最大ビットレートをオンにし、目標ビットレートを指定することもできます。



- 1 目標ビットレート
- 2 実際の平均ビットレート

帯域幅とストレージ容量を削減する

重要

帯域幅を削減すると、画像の詳細度が失われる可能性があります。

1. ライブビューに移動し、[H.264] を選択します。
2. [Settings > Stream (設定 > ストリーム)] に移動します。
3. 以下の操作を1つ以上実行します。
 - Zipstream機能をオンにし、希望のレベルを選択する。
 - ダイナミックGOPをオンにし、GOP長を高い値に設定する。
 - 圧縮度を増やす。
 - ダイナミックFPSをオンにする。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

追加設定

ネットワークストレージを設定する

ネットワーク上に録画を保存するには、以下のようにネットワークストレージを設定する必要があります。

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Storage (ストレージ)] の順に移動します。
2. [Network storage (ネットワークストレージ)] の [Setup (設定)] をクリックします。
3. ホストサーバーのIPアドレスを入力します。
4. ホストサーバー上の共有場所の名前を入力します。
5. 共有にログインが必要な場合はスイッチを移動し、ユーザー名とパスワードを入力します。
6. [Connect (接続)] をクリックします。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

トラブルシューティング

トラブルシューティング

このページで解決策が見つからない場合は、axis.com/supportのトラブルシューティングセクションに記載されている方法を試してみてください。

工場出荷時の設定にリセットする

重要

工場出荷時の設定へのリセットは慎重に行ってください。工場出荷時の設定へのリセットを行うと、IPアドレスを含むすべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。

本製品を工場出荷時の設定にリセットするには、以下の手順を実行します。

1. 本製品の電源を切ります。
2. コントロールボタンを押した状態で電源を再接続します。4ページの製品の概要を参照してください。
3. ステータスLEDインジケーターがオレンジ色に点滅するまで、コントロールボタンを15～30秒間押し続けます。
4. コントロールボタンを離します。プロセスが完了すると、ステータスLEDが緑色に変わります。これで本製品は工場出荷時の設定にリセットされました。ネットワーク上に利用可能なDHCPサーバーがない場合、デフォルトのIPアドレスは192.168.0.90になります。
5. インストールおよび管理ソフトウェアツールを使用して、IPアドレスの割り当て、パスワードの設定、ビデオストリームへのアクセスを行います。

axis.com/supportのサポートページに、インストールおよび管理ソフトウェアツールが用意されています。

Webインターフェースを使用して、各種パラメーターを工場出荷時の設定に戻すこともできます。**Settings > System > Maintenance (設定 > システム > メンテナンス)**を選択し、**Default (デフォルト)**をクリックします。

ファームウェアオプション


アクシスでは、アクティブトラックまたはLTS (長期サポート) トラックのどちらかに従って、製品のファームウェアを管理することができます。アクティブトラックでは、最新の製品機能すべてに常時アクセスできますが、LTSトラックの場合、バグフィックスやセキュリティ更新に重点を置いた定期的リリースが提供される固定プラットフォームを使用します。

最新の機能にアクセスする場合、またはアクシスのエンドツーエンドシステムの機能を利用する場合は、アクティブトラックのファームウェアを使用することをお勧めします。最新のアクティブトラックに対して継続的な検証が行われないサードパーティの統合を使用する場合は、LTSトラックをお勧めします。LTSにより、大きな機能的な変更や既存の統合に影響を与えることなく、サイバーセキュリティを維持することができます。アクシス製品のファームウェア戦略の詳細については、axis.com/support/firmwareを参照してください。

現在のファームウェアを確認する

ファームウェアは、ネットワークデバイスの機能を決定するソフトウェアです。問題のトラブルシューティングを行う際には、まず、現在のファームウェアバージョンを確認してください。最新バージョンには、特定の問題の修正が含まれていることがあります。

現在のファームウェアを確認するには:

1. 製品のWebページに移動します。
2. ヘルプメニュー  をクリックします。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

トラブルシューティング

3. [About (バージョン情報)] をクリックします。

ファームウェアのアップグレード

重要

事前設定済みの設定とカスタム設定は、(その機能が新しいファームウェアで利用できる場合)、ファームウェアのアップグレード時に保存されます。ただし、この動作をAxis Communications ABが保証しているわけではありません。

重要

アップグレードプロセス中は、本製品を電源に接続したままにしてください。

注意

Active (アクティブ)トラックから最新のファームウェアをダウンロードして製品をアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。ファームウェアを更新する前に、ファームウェアとともに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。最新ファームウェアおよびリリースノートについては、axis.com/support/firmwareを参照してください。

1. ファームウェアファイルをコンピューターにダウンロードします。ファームウェアファイルはaxis.com/support/firmwareから無料で入手できます。
2. 製品に管理者としてログインします。
3. [Settings > System > Maintenance (設定 > システム > メンテナンス)] にアクセスします。ページの指示に従います。アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。

複数のアップグレードを行う場合は、AXIS Device Managerを使用できます。詳細については、axis.com/products/axis-device-managerをご覧ください。

技術的な問題、ヒント、解決策

このページで解決策が見つからない場合は、axis.com/supportのトラブルシューティングセクションに記載されている方法を試してみてください。

ファームウェアのアップグレードで問題が発生する

| | |
|-------------------|---|
| ファームウェアのアップグレード失敗 | ファームウェアのアップグレードに失敗した場合、デバイスは以前のファームウェアを再度読み込みます。最も一般的な理由は、間違ったファームウェアファイルがアップロードされた場合です。デバイスに対応したファームウェアファイル名であることを確認し、再試行してください。 |
|-------------------|---|

IPアドレスの設定で問題が発生する

| | |
|------------------|---|
| デバイスが別のサブネット上にある | デバイス用のIPアドレスと、デバイスへのアクセスに使用するコンピューターのIPアドレスが異なるサブネットにある場合は、IPアドレスを設定することはできません。ネットワーク管理者に連絡して、適切なIPアドレスを取得してください。 |
|------------------|---|

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

トラブルシューティング

| | |
|-------------------------------------|--|
| IPアドレスが別のデバイスで使用されている | デバイスをネットワークから切断します。pingコマンドを実行します (コマンドウィンドウまたはDOSウィンドウで、pingコマンドとデバイスのIPアドレスを入力します)。 <ul style="list-style-type: none">もし、「Reply from <IPアドレス>: bytes=32; time=10...」という応答を受取った場合は、ネットワーク上の別のデバイスでそのIPアドレスがすでに使われている可能性があります。ネットワーク管理者から新しいIPアドレスを取得し、デバイスを再度インストールしてください。もし、「Request timed out」が表示された場合は、AxisデバイスでそのIPアドレスを使用できます。この場合は、すべてのケーブル配線をチェックし、デバイスを再度インストールしてください。 |
| 同じサブネット上の別のデバイスとIPアドレスが競合している可能性がある | DHCPサーバーによって動的アドレスが設定される前は、Axisデバイスは静的IPアドレスを使用します。つまり、デフォルトの静的IPアドレスが別のデバイスでも使用されていると、デバイスへのアクセスに問題が発生する可能性があります。 |

ブラウザからデバイスにアクセスできない

| | |
|-----------------------|---|
| ログインできない | HTTPSが有効なときは、正しいプロトコル (HTTPまたはHTTPS) を使用してログインしてください。ブラウザのアドレスフィールドに、手動で「http」または「https」と入力する必要がある場合があります。 rootユーザーのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットする必要があります。15ページの工場出荷時の設定にリセットするを参照してください。 |
| DHCPによってIPアドレスが変更された | DHCPサーバーから取得したIPアドレスは動的なアドレスであり、変更されることがあります。IPアドレスが変更された場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してデバイスのネットワーク上の場所を特定してください。デバイスのモデルまたはシリアル番号、あるいはDNS名 (設定されている場合) を使用してデバイスを識別します。 必要に応じて、静的IPアドレスを手動で割り当てることができます。手順については、 axis.com/support を参照してください。 |
| IEEE 802.1X使用時の証明書エラー | 認証を正しく行うには、アクシスデバイスの日付と時刻をNTPサーバーと同期させる必要があります。[Settings > System > Date and time (設定 > システム > 日付と時刻)] にアクセスします。 |

デバイスにローカルにアクセスできるが、外部からアクセスできない

デバイスに外部からアクセスする場合は、以下のいずれかのWindows®向けアプリケーションを使用することをお勧めします。

- AXIS Companion: 無料で使用でき、最小限の監視が必要な小規模システムに最適です。
- AXIS Camera Station: 小規模から中規模のシステムに最適です。30日間の試用版を無料で使用できます。

手順とダウンロードについては、axis.com/vmsを参照してください。

ストリーミングの問題

| | |
|-----------------------------------|---|
| ローカルクライアントしかマルチキャストH.264にアクセスできない | ルーターがマルチキャストをサポートしているかどうか、またはクライアントとデバイス間のルーター設定を行う必要があるかどうかを確認してください。TTL (Time To Live) 値を上げる必要がある場合もあります。 |
|-----------------------------------|---|

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

トラブルシューティング

| | |
|-------------------------------|--|
| H.264のマルチキャスト画像がクライアントで表示されない | Axisデバイスで使用されたマルチキャストアドレスが有効かどうか、ネットワーク管理者に確認してください。 ファイアウォールが表示を妨げていないかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。 |
| H.264画像のレンダリング品質が悪い | グラフィックカードで最新のデバイスドライバーが使用されていることを確認してください。最新のドライバーは、通常、メーカーのWebサイトからダウンロードできます。 |
| フレームレートが予想したレートより低い | <ul style="list-style-type: none">18ページのパフォーマンスに関する一般的な検討事項を参照してください。クライアントコンピュータで実行されているアプリケーションの数を減らします。同時閲覧者の数を制限します。使用可能な帯域幅が十分かどうか、ネットワーク管理者に確認します。画像の解像度を下げます。Axisデバイスの電源周波数 (60/50Hz) によって、最大フレーム/秒は異なります。 |

パフォーマンスに関する一般的な検討事項

システムを設定する際には、さまざまな設定や条件がシステムのパフォーマンスにどのように影響するかを検討することが重要です。ある要因は必要な帯域幅の量 (ビットレート) に影響し、他の要因はフレームレートに影響し、帯域幅とフレームレートの両方に影響する事柄もあります。CPUの負荷が最大に達した場合も、フレームレートに影響を及ぼします。

最も重要な検討事項には次のようなものがあります。

- 画像解像度が高い、または圧縮レベルが低いと、画像のファイルサイズが増大し、結果的に帯域幅に影響を及ぼします。
- GUIで画像を回転させると、製品のCPU負荷が増加します。
- 多数のクライアントによるMotion JPEGまたはユニキャストH.264のアクセスは、帯域幅に影響を及ぼします。
- 様々なクライアントが様々な解像度や圧縮方式が異なるストリームを同時に閲覧すると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。

フレームレートを高く維持するために、できる限り同一ストリームを使用してください。ストリームプロファイルを使用すると、ストリームの種類が同一であることを確認できます。

- Motion JPEGおよびH.264のビデオストリームに同時にアクセスすると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
- イベント設定を多用すると、製品のCPU負荷に影響が生じ、その結果、フレームレートに影響します。
- 特に、Motion JPEGのストリーミングでは、HTTPSを使用するとフレームレートが低くなる場合があります。
- 貧弱なインフラによるネットワークの使用率が高いと帯域幅に影響します。
- パフォーマンスの低いクライアントコンピューターで閲覧するとパフォーマンスが低下し、フレームレートに影響します。
- 複数のAXIS Camera Application Platform (ACAP) アプリケーションを同時に実行すると、フレームレートと一般的なパフォーマンスに影響する場合があります。
- パレットを使用すると、製品のCPU負荷に影響が生じ、その結果、フレームレートに影響します。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

仕様

仕様

最新バージョンの製品のデータシートについては、axis.comで本製品のページを開いて「サポートとドキュメント」へお進みください。

LEDインジケーター

| ステータスLED | 説明 |
|----------|--|
| 消灯 | 接続時および正常動作時です。 |
| 緑 | 接続時および正常動作時です。 |
| オレンジ | 起動時に点灯します。ファームウェアのアップグレード時と工場出荷時設定へのリセット時に点滅します。 |
| オレンジ/赤 | ネットワーク接続が利用できないか、失われた場合は、オレンジ/赤色で点滅します。 |
| 赤 | ファームウェアのアップグレード失敗。 |

SDカードスロット

注記

- SDカード損傷の危険があります。SDカードの挿入と取り外しの際には、鋭利な工具や金属性の物を使用したり、過剰な力をかけたりしないでください。カードの挿入や取り外しは指で行ってください。
- データ損失や録画データ破損の危険があります。本製品の稼働中はSDカードを取り外さないでください。取り外しの前に、製品のWebページからSDカードをマウント解除してください。

本製品は、microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応しています。

推奨するSDカードについては、axis.comを参照してください。

 microSD、microSDHC、およびmicroSDXCロゴは、SD-3C LLCの商標です。microSD、microSDHC、microSDXCは、米国および/または他の国々におけるSD-3C, LLCの商標または登録商標です。

ボタン

コントロールボタン

コントロールボタンの位置については、4ページの製品の概要を参照してください。

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。15ページを参照してください。
- AXIS Video Hosting Systemサービスに接続する。を参照してください。接続するには、ステータスLEDが緑色に点滅するまで、ボタンを押し続けます(約3秒間)。

コネクタ

電源コネクタ

AC/DC電源を接続するためのターミナルコネクタ。

AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

仕様

ネットワークコネクタ

Power over Ethernet (PoE) 対応RJ45イーサネットコネクタ

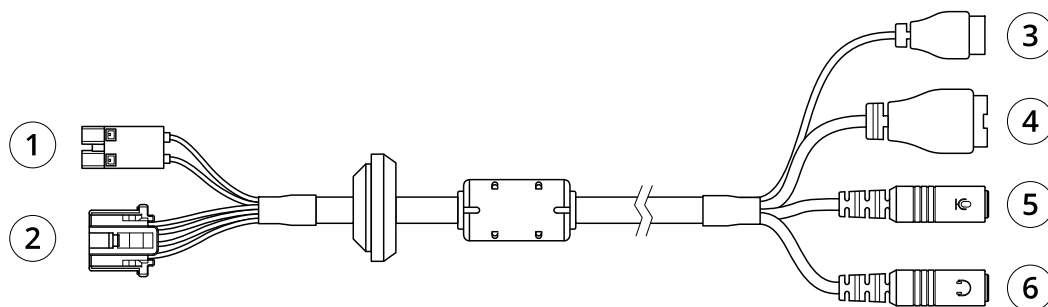
マルチコネクタ

以下の外部装置を接続するターミナルコネクタ:

- ・ 音声装置
- ・ 入出力 (I/O) デバイス
- ・ DC電源

外部装置を接続する場合、本製品のIP定格を維持するため、別売のAxisマルチケーブルが必要になります。詳細については、20ページのマルチケーブルコネクタを参照してください。

マルチケーブルコネクタ



マルチケーブルの概要

- 1 カメラ電源コネクタ
- 2 カメラマルチコネクタ
- 3 電源コネクタ
- 4 I/Oターミナルコネクタ
- 5 音声入力(ピンク)
- 6 音声出力(緑)

マルチケーブルには、以下のコネクタがあります。

電源コネクタ - 電源入力用2ピンターミナルブロック。ケーブルの極性はどちらでもかまいません。定格出力が100 W以下または5 A以下の安全特別低電圧 (SELV) に準拠した有限電源 (LPS) を使用してください。



音声入力(ピンク) - モノラルマイクロフォンまたはラインインモノラル信号用(左チャンネルはステレオ信号で使用) 3.5 mm入力。

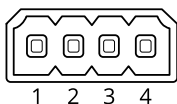
音声出力(緑) - 3.5 mm音声(ラインレベル) 出力(パブリックアドレス (PA) システムまたはアンプ内蔵アクティブスピーカーに接続可能)。音声出力には、ステレオコネクタを使用する必要があります。

I/Oターミナルコネクタ - 外部装置を接続し、カメラに対するいたずらの警報、動体検知、イベントトリガー、アラーム通知などを使用することができます。I/Oコネクタは、0 V DC基準点と電力 (DC出力) に加えて、以下のインターフェースを提供します。

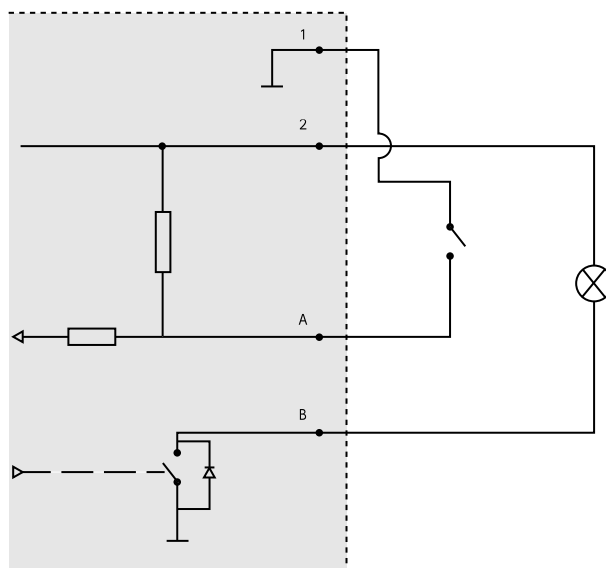
AXIS Q19 Thermal Network Camera Series

仕様

- デジタル出力 – リレーやLEDなどの外部デバイスを接続します。接続されたデバイスは、VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェースまたは製品のWebページから有効にすることができます。
- デジタル入力 – オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能な外部デバイス (PIR検知器、ドア/窓の接触、ガラス破損検知器など) を接続するための入力です。



| 機能 | ピン | 備考 | 仕様 |
|----------------|-----|--|--|
| 0 V DC (-) | 1 | | 0 V DC |
| DC出力 | 2 | 補助装置の電源供給に使用できます。 注: このピンは、電源出力としてのみ使用できません。 | 12 V DC 最大負荷 = 50 mA |
| 設定可能 (入力または出力) | 3-4 | デジタル入力 – 動作させるにはピン1に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) にします。 | 0~30 V DC (最大) |
| | | デジタル出力 – アクティブ時はピン1 (DCグラウンド) に内部で接続され、非アクティブ時はフロート状態 (未接続) になります。リレーなど、誘導負荷とともに使用する場合は、過渡電圧から保護するために、ダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。 | 0~30 V DC (最大)、 オープンドレイン、 100 mA |



- 1 0 V DC (-)
- 2 DC出力12 V、最大50 mA
- A I/O (入力として設定)
- B I/O (出力として設定)

